



商店街を走り抜ける元旦マラソンの参加者

走り初め“快汗” 楽走会

一関楽走会(佐藤東会長)が主催する元旦マラソンは1日、一関市大手町の一関文化センター前から平泉町の毛越寺山門前までのコースで行われ、愛好者らが新年の走り初めで心地よい汗を流した。

タイムは競わず楽しく走ろうと毎年開催され、48回目。会員や一般参加者ら約50人が同センター前に集合した。

開会式で佐藤会長は「今年1年、健康で暮らせるように走ろう。自分の調子に合わせて一生懸命ゴールを目指してほしい」とあいさつ。来賓として出席した市まちづくり推進部の猪股悦子次長が「皆さんの無事の完走を祈念する。今後もランニングを含め、それぞれの体力に合った運動を継続的に実践し、心身とも健康で充実した毎日を過ごして

ほしい」と勝部修市長の祝辞を代読した。

参加者は準備体操と記念撮影した後、一斉にスタート。同市大町や地主町の商店街を駆け抜け、中里地区、国道4号を経て毛越寺山門前でゴールした。平泉中学校1年の友人同士で初めて参加した佐藤巨佑さん(13)と小野寺幸輝さん(13)は「けがをしないように楽しく走りたい」などと話し、元気に駆けていた。

岩手日日新聞

令和2年1月3日 掲載記事